

！今月の注目情報

ジャパンエキスポ@パリ どちら介が栃木市をPR

ブースでは、伝統工芸品の展示やチラシなどを配布してPR



ステージでも元気に明るくPR



会場内をお散歩しながらPR



市長通信



シビックコア地区整備計画

市民の皆さん、こんにちは。

先月の九州北部での豪雨災害では、福岡・大分の両県を中心に、甚大な被害が発生しました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますと共に、被災された皆さま、関係者の皆さまに、心よりお見舞いを申し上げます。

九州での豪雨災害において、度重なる「記録的短時間大雨情報」を経て「特別警報」へと至った状況は、2年前に本市に大きな被害をもたらした関東・東北豪雨災害を、生々しく思い起こさせるものでした。関東・東北豪雨災害の際は、全国各地から、本市に多くのあたたかいご支援をいただきました。今回の九州の豪雨災害の被害に対し、本市におきましても、先月の発生直後より義援金の受付を始めたほか、今後は被災地からの要望に応じて、

各種の支援を行ってまいります。市民の皆さんも、被災地へのご支援を、ぜひよろしくお願いたします。

さて、今回の市長通信では、栃木駅周辺にて整備を進めております「シビックコア地区整備計画」についてお話しします。

シビックコア地区整備計画は、栃木駅北口周辺地区の魅力とにぎわいの創出をめざし、官公庁施設や民間施設などの整備を総合的かつ一体的に実施する計画です。この計画は、市が作成し、国土交通省関東地方整備局の同意を得たもので、国が整備をする合同庁舎と、民間施設が基本となる(仮称)シビックセンターの二つの建物が核となっています。

ひとつめの核である「国の合同庁舎」は、地上5階建てで、栃木税務署や栃木公共職業安定所(ハローワーク)が入る予定です。今年度に設計が完了する見込みで、工事については現在のところ、平成30年度～32年度を予定しております。

もうひとつの核となる「(仮称)シビックセンター」は、駅前の利便性を高め、賑わいを創出するため

に、民間事業者自らビルを建ててもらい、そこで事業を営んでいただきます。その事業がどんなものであり、どんなビルを建てるのかを提案してもらい、一番いい提案を行った事業者に決定します。なお、そのビルの一角には、市民の皆さんに利用してもらえるような公的スペースを設置させてもらう予定です。工事については、国の合同庁舎とおなじく、平成30年度～32年度を予定しております。

昨年、市内の高校生と私との意見交換会「高校生夢トーク」を行いました。参加した高校生からの「駅前に高校生が集える場所があれば」という提案が印象に残りました。高校の生徒数が県内で2番目に多いこの栃木市において、栃木駅は栃木市の「顔」と同時に、昔も今も、市内外から通学する多くの高校生の皆さんが毎日利用する駅です。そんな栃木駅周辺が、高校生をはじめ多くの市民の皆さんの憩いの場所となるよう、今後も取り組んでいきたいと思っております。皆さんのご支援・ご協力をお願いいたします。

栃木市長 鈴木俊美

